

参政党小金井

Vol.132 所属議員 齋藤康夫

市議会会派「参政党小金井」会派レポート

令和6年 新年号

発行 令和 6年 1月 1日

小金井市本町6-3-3 (小金井市議会内) 連絡先042-382-0911

Email:saitouyasuo@nifty.com



市議会議員・一級建築士

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設 再開予算可決

齋藤「民主的に速やかに進めるべき」 令和10年4月竣工予定

新庁舎建設事業は一時中断していましたが、再開する予算が、白井市長により提案されました。議会から提案された意見により設計変更の論点の検証が実施され、再開の予算が可決しました。

【計画の延期と市長辞職】

令和4年、西岡前市長が在籍時に新庁舎の実施設計が完了し、これから確認申請、その後に建設業者選定のための入札とスケジュールが進む予定でしたが、16人の議員による「市民と議会の理解を得るまでの間、庁舎建設に係る建築確認申請は行わないこと」という申し入れにより事実上中断されました。その後、西岡前市長は公立保育園廃園にともなう専決処分をめぐり辞職しました。

私は、庁舎の設計内容には異論があるものの民主的にここまで進めてきた計画ですので、スケジュール通り進めるべきと考えています。

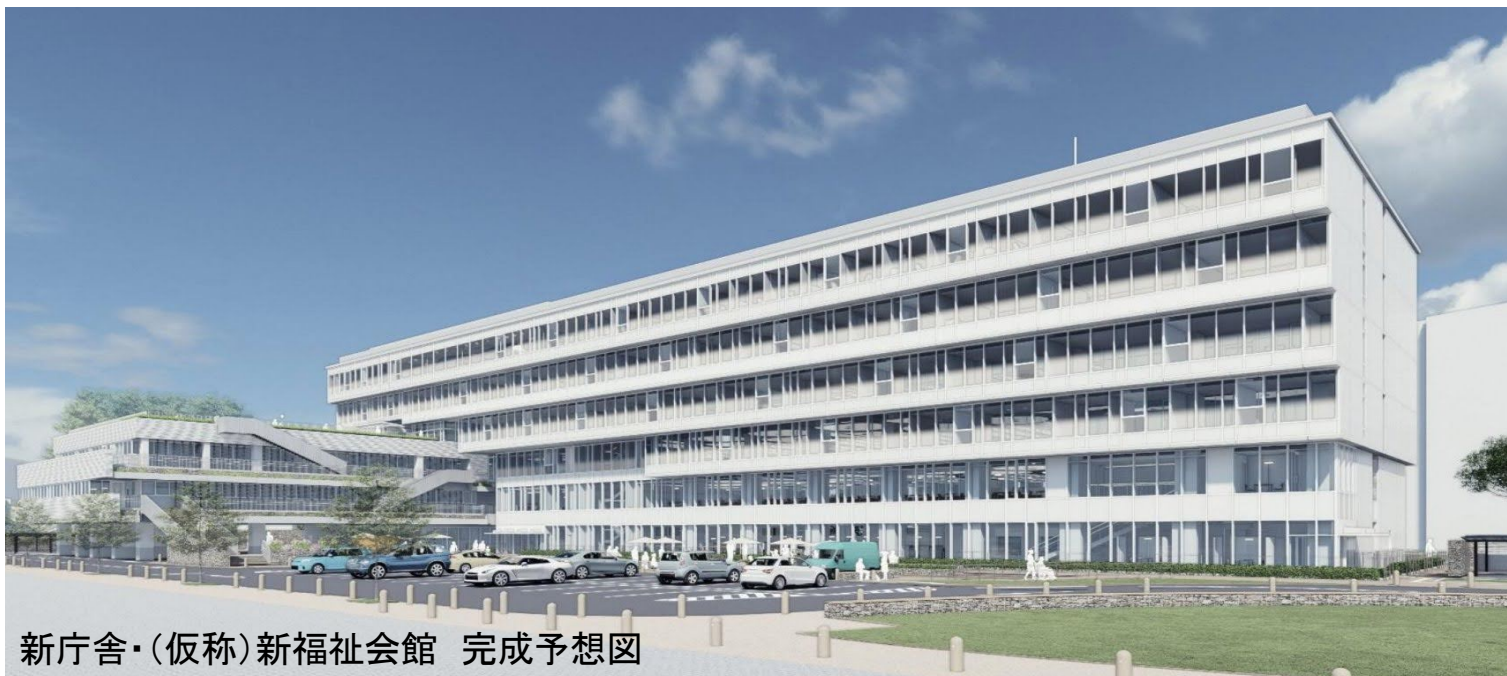
【論点の検証と再開方針】

前市長が辞職した後、新市長の白井氏は、新庁舎建設計画を推進させるため、前市長案の一部修正と確認申請の手続きをするための予算を議会に提出しました。

その予算に対して4会派13名の議員が「前市政の協議会で提案された設計変更の論点を検証すべき」と主張し、その経費616万円を付加した予算修正案を提出し、賛成13：反対9で可決しました。

その後、2ヶ月かけ9項目について検証し、その結果は市議会第3回定例会（9月議会）に報告され、市民説明会を経た後、検証結果に基づき「庁舎等複合施設建設事業の再開方針」が表明され、市議会第4回定例会に補正予算（債務負担行為）が提案され、可決しました。

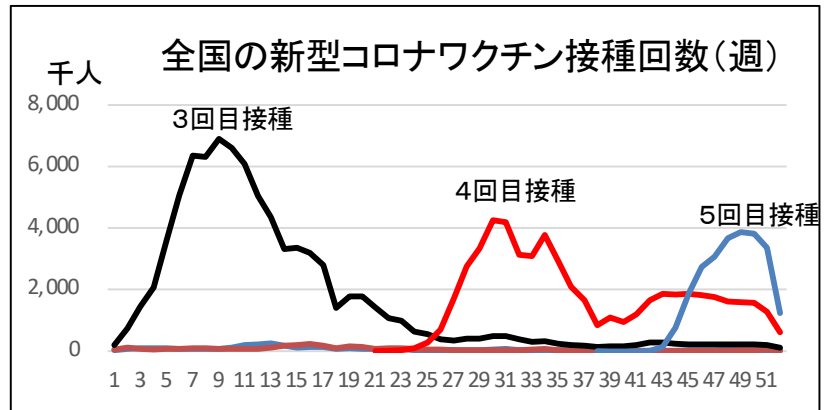
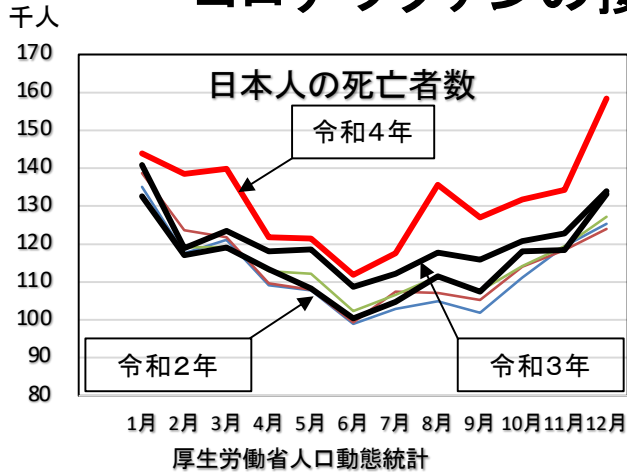
想定スケジュールでは、竣工・供用開始は、令和10年（2028）4月の予定です。



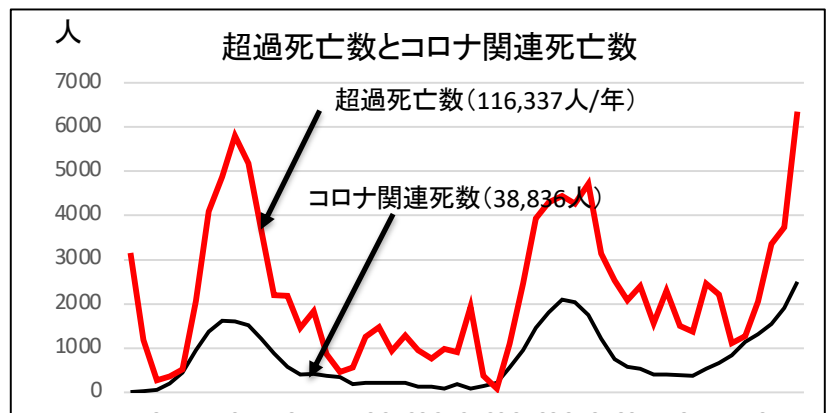
新庁舎・(仮称)新福祉社会館 完成予想図

斎藤康夫の一般質問 第2,3回定例会

コロナワクチンの接種数と超過死亡数の相関性



デジタル庁ワクチン接種システム(VRS)より



国立感染症研究所公開のダッシュボードより

【コロナ以外で約16万人も死亡者が増えた！】

上段のグラフをご覧ください。令和4年に日本人の死亡者数が令和2年と比べ20万人も増えました。このグラフは厚生労働省発表の人口動態統計です。

新型コロナウイルス感染症が日本に上陸した令和2年は前年比9,373人減少しました。しかし、令和3年は令和2年と比べ、67,945人増加し令和4年は197,789人増加しました。

これは、コロナ関連死を差し引くと年間約16万人の死亡者数が増えており、広島の前爆での死者数を上回っています。異常な事態であるにもかかわらず、原因究明がなされていません。

【ワクチンを接種すると死亡者が増える？】

右上段のグラフをごらんください。コロナワクチンの3～5回目の接種数をグラフにしたものです。右下段のグラフは同時期の超過死亡数(※注)です。どちらも公的機関が公表しているものです。三つの高い山がありますが、ワクチンを接種すると超過死亡数が増える相関関係があります。

これを偶然の一致として片づけても良いのでしょうか？

私は第2回定例会で死亡者数が20万人増えた原因究明を小金井市から国に対して要請するように一般質問をしました。しかし、まともな答弁は得られませんでした。

小金井市議会からは政府に対し「死亡者数激増の原因究明を求める意見書」を可決し送付いたしました。

第3回定例会でも一般質問にて「死亡者激増の原因究明がなされていないのだから、ワクチン接種の副反応が死亡者激増の原因であるとの可能性は否定できない」また「コロナで亡くなる方よりワクチンで亡くなるの方が数倍多いという可能性がある」として、死亡者激増の原因究明を重

ねて主張しました。せめて小児に対するワクチン接種は慎重にすべきであると指摘いたしました。

このような状況であるにもかかわらず、政府やマスコミ、医療機関(一部の医療専門家を除く)がまったく国民に周知することなくワクチン接種を努力義務として半強制してきたことの責任の所在を明確にすべきです。製薬会社からの影響が絶対に無いといえるのでしょうか。

大阪府の泉大津市では、小児に対するワクチン接種券は本人に直接郵送するのではなく、保護者に考慮する機会を与えるために葉書により通知し、申し込み制としています。

尚、令和5年9月から高齢者と基礎疾患がある方以外の「接種努力義務」は撤廃されています。しかし、積極的に周知しているとはいえません。明確に周知することも必要であることも指摘いたしました。

※注: 超過死亡数とは: 過去のデータから統計学的に推計される死亡者数を実際の死亡者数がどれだけ上回ったかを調べる手法

皆様の声をお寄せください

- ・皆様の専門的な知識や豊かな経験、アイデア、発想をお寄せください。市政運営に反映いたします。
- ・地域の課題 道路 街灯 公園 街角ベンチのような身近な不具合・不便なことをお知らせください。

電話/FAX :042-382-0911 携帯 :090-4942-1352 E-mail :saitouyasuo@nifty.com